

設備用パッケージエアコン仕様書 <ファシリアDDシリーズ>					台数		記号	
セット形名	PFHV-P450DMJ3	室内	PFAV-P450DMJ3	室外	PUHV-P450DMJ3(-BS,-BSG)			

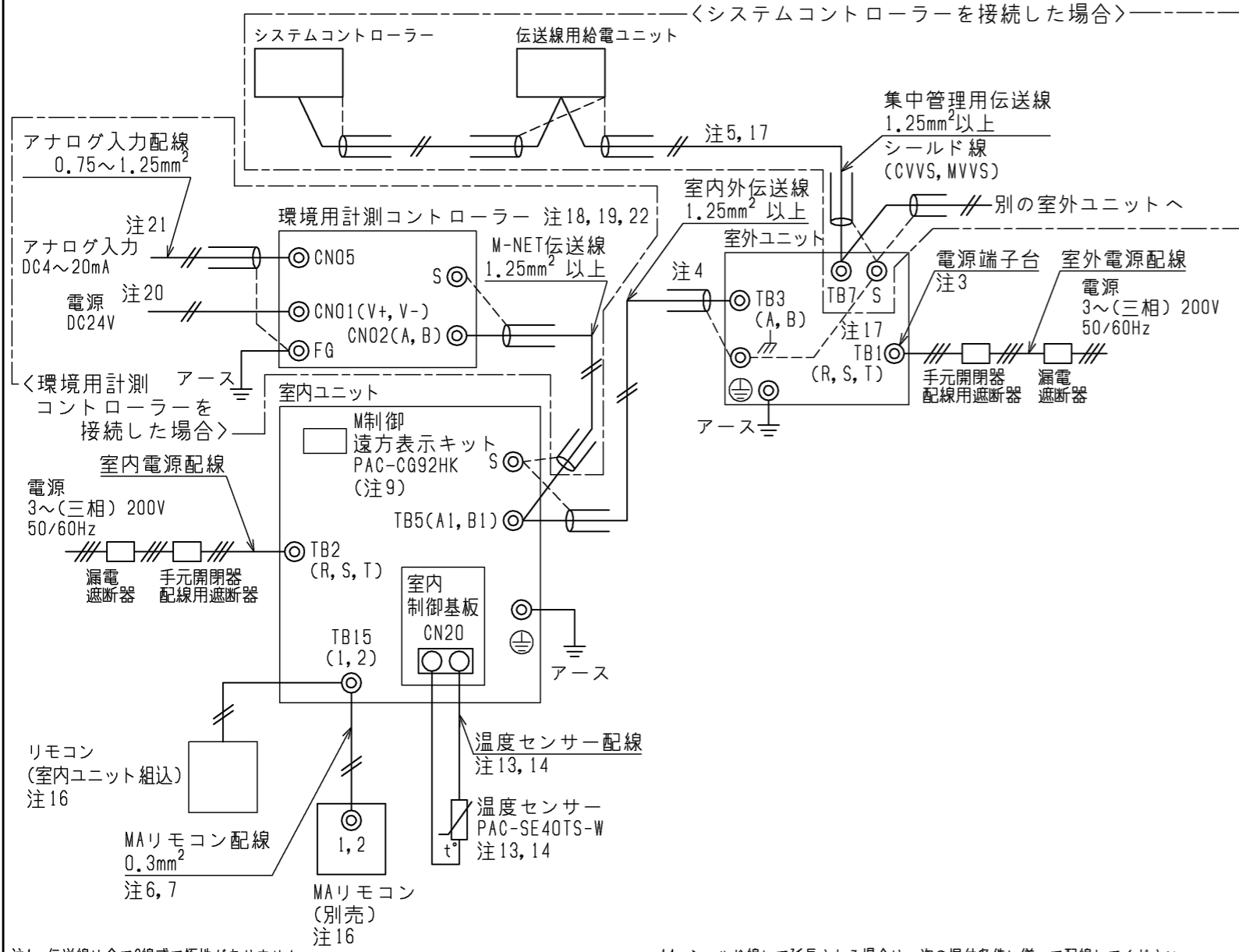
御使用先	殿			法定冷凍トン/台	5.73			
弊社工事番号				製品質量(概算) kg	室内	240	室外	241
始動方式	インバーター							

電 源		V/Hz	三相 200V/50Hz						
			冷 房		暖 房		暖房低温		
能 力	kW		40.0(45.0) ()は最大		45.0(50.0) ()は最大		40.0		
消費電力	kW		13.3		13.3		13.3		
運転電流	A		42.2		42.5		-		
運転力率	%		90		90		-		
室 内	風 量	m ³ /min	140						
	機外静圧	Pa	30						
	電動機出力	kW	1.2×2						
	消費電力	kW	1.31		1.31		-		
	運転電流	A	4.4		4.4		-		
	始動電流	A	-						
	吸込空気	乾球温度	°C	27.0		20.0		20.0	
湿球温度		°C	19.0		-		-		
運 転 音	PWL	dB	75		75		-		
室 外	風 量	m ³ /min	210						
	電動機出力	kW	0.46 (送風機)						
	消費電力	kW	11.9		11.9		-		
	運転電流	A	37.8		38.1		-		
	始動電流	A	15						
	吸込空気	乾球温度	°C	35.0		7.0		2.0	
		湿球温度	°C	-		6.0		1.0	
運 転 音	PWL	dB	83		83		-		
圧縮機用電動機定格出力	kW		9.84 (室外)		吸込口形式 / 方向		グリル / 前面・背面		
冷 媒 / 冷凍機油			R410A/エシール油		吹出口形式 / 方向		ダクト / 上面		
圧力開閉器 (高低圧)	高圧カット	MPa	4.15		冷媒配管接続方向	室内	右・左		
	低圧カット	MPa	-			室外	前・下 (ユニット下面より前後左右に引出し可能)		
リモコン	調節範囲	°C	<冷房> 14~30		電源・伝送線接続方向	室内	右・左		
			<暖房> 14~30			室外	前・下 (ユニット下面より前後左右に引出し可能)		
クランクケースヒーター	W		-		ドレン配管接続方向	左(現地にて右に変更可)			
エアフィルター(ろ材)	PPハニカム織								
塗 装 色	室内ユニット	マンセル 5Y 8/1 <近似色>			室外ユニット	マンセル 5Y 8/1 <近似色>			
共 通 事 項	冷媒配管長		室外ユニット~室内ユニット間実長 165m以下						
	高低差	外機~内機	室外ユニット上の場合 50m以下 / 室外ユニット下の場合 40m以下						
	延長配管径(液/ガス)		φ12.7/φ28.58						
	使用温度範囲	室内ユニット吸込	<冷房> 湿球温度 10~25°C <暖房> 乾球温度 14~30°C						
室外ユニット吸込		<冷房> 乾球温度 -15~43°C (送風機運転中の送風機吹出し部は除く) <暖房> 湿球温度 -20~15.5°C (送風機運転中の送風機吹出し部は除く)							
特 記 事 項									
注 意 事 項	注1. 冷房・暖房能力および運転特性は、JISB8616:2015およびJRA4002:2016の吸込空気条件で運転した場合の値です。								
	注2. 騒音値はJRA4065:2013に基づいた値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。								
	注3. 組み込む別売部品の種類によっては電気特性、風量、機外静圧、騒音値等が変化することがあります。詳細は設計工事マニュアルをご覧ください。								
	注4. 室内ユニット周囲空気が露点温度23°C以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。								
	注5. 冷房時、室外ユニット吸込温度が-15~-5°Cでご使用の場合、安定した運転のために防雪フード(吹出ダクト・吸込ダクト)を取付けてください。また、ユニット周囲を防雪ネットや防雪柵で囲うなどの対策を行ってください。								
	注6. 本製品を長く安心してお使いいただくためには定期的な保守・点検が必要です。各部品の点検・保全周期については日本冷凍空調工業会発行のガイドラインを参考にしてください。								
	注7. データモニタリング機能は、2リモコンでご使用の場合「主-従」設定で「主」に設定したリモコンのみご使用できます。								
	注8. 外気を取り入れて使用するとき、必要に応じてリモコンサーモまたは別売部品の温度センサー(PAC-SE40TS-W)へ変更して下さい。								
	注9. 外気を取り入れて使用するとき、取り入れ外気温度は10°C以上、外気取り入れ量は、全体風量の10%以下となるようにして下さい。								
	注10. 蒸気ヒーターを再熱ヒーターとして使用する場合は、凝縮水滞留防止ポンプ(トラップ)を必ず併用してください。なお、ポンプを設置する配管システムは専門メーカーに問合せ願います。凝縮水滞留防止ポンプ(トラップ)を設置しない場合には、ストール現象の発生によりスチームハンマー、凍結、腐食によるヒーター破損の可能性があります。								
標準仕様									
添付図面	外形図(室内)	KP94C1RF	電気配線図(室内)	KP94C1R7	機外配線図	KP94C1QH			
	外形図(室外)	KB94C88E	電気配線図(室外)	KE94L435					

*除外工事 据付・基礎工事、給排水工事、電気接続工事、ダクト工事、防熱工事、電源開閉器、温調・湿調用電磁弁、逆止弁、その他本仕様書に明示無き事項。

三菱電機株式会社	日付	24-1-18	仕様書番号	WYNC3-4837-5	副番	-
----------	----	---------	-------	--------------	----	---

三菱電機 パッケージエアコン PFHV-P450DMJ3 機外配線図



- 注1. 伝送線は全て2線式で極性がありません。
2. ◎印はネジ端子台、□印は基板挿込みコネクタを示します。
3. 室外電源配線は、端子台TB1に接続してください。
4. 伝送線(シールド線)のシールド側は必ず室外ユニットのアース端子に接続してください。また、室内ユニットへの渡り配線(伝送線)のシールドアースは、室内ユニットの端子S(シールド)へ接続してください。(シールドアースは図中、破線にて示しています)
5. システムコントローラーを集中管理用伝送線に接続する場合、システムコントローラーの給電機能を利用してください。システムコントローラーに給電機能が無い場合は伝送線用給電ユニットを接続してください。
6. MAリモコンの配線長は最大200mまで可能です。MAリモコンペア接続時は100m以内になしてください。
7. 室内ユニットを同一グループにする場合は、グループにしたい室内ユニット間のMAリモコン線を渡り配線してください。
8. 室内ユニットを同一グループにする場合は、システムコントローラーにより登録してください。
9. M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)は別売部品です。入出力信号配線接続要領はキットの説明書を参照してください。
10. 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
11. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて使用してください。
12. 過電流保護器はB種ヒューズを使用する場合について示します。
13. 温度センサー配線を使用する場合は、PAC-SE40TS-Wに付属しているケーブル(10m)を使用してください。10mを超える場合は、◎制御配線表の仕様に従って配線してください。温度センサーの設置方法は、温度センサー(PAC-SE40TS-W)の据付工事説明書と室内ユニットの据付工事説明書を必ず参照してください。
14. シールド線にて延長される場合は、次の据付条件に従って配線してください。
- ①動力線(強電系)とは、300mm以上離してください。
- ②インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器などの影響を受けないように配線してください。
- ③シールド線は、室内ユニットのアース端子へ接続してください。
15. 製品の故障、電源配線不良などにより大電流が流れた場合、製品側の遮断器と上位側の遮断器が共に作動することがあります。設備の重要度により電源系統を分割するか、遮断器の保護協調をとってください。
16. M-NETリモコンは使用できません。
17. M-NET集中管理用伝送線のシールドは、一点アース処理が必要です。給電機能を有するコントローラーまたは伝送線用給電ユニットから給電する場合は、室外ユニットのS端子(シールド)とアース端子は接続せず、給電する装置側でアース処理を実施してください。詳細は、システムコントローラーの据付工事説明書を参照してください。
18. 環境用計測コントローラー(PAC-YG63MC1)は別売部品です。
19. 環境用計測コントローラーは防水構造ではありません。必ず屋内の制御盤内に設置してください。本体サイズは200(W)×120(H)×45(D)mmです。本体周囲に100mm以上のスペースを設けてください。
20. DC24V電源には供給の一次側にバリスタ、アレスタ、ノイズフィルター、ヒューズなどで構成される回路を取付けてください。
21. アナログ入力によるデマンドは多段デマンドとなります。
22. アナログ入力を受けてから環境用計測コントローラーがデマンド信号を出力するまで最大1分間の時間遅れが生じます。また、デマンド出力から実際にユニットの能力に反映されるのにも時間遅れが生じます。
23. デマンド制御を実施していても、ユニットの保護制御が優先されます。ユニットに必要な保護機能が作動して、目的とする運転容量が得られない場合がありますのでバックアップ機能が別途必要です。

①室内ユニット 電線太さ及び開閉器容量

形名	電動機出力	電線太さ		漏電遮断器 ※1	手元開閉器		配線用遮断器	最大こう長 ※4	室内ユニット 最大電流
		電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器			
PFAV-P450DMJ3	1.2kW×2	1.6mm	1.6mm	15A ※3	15A	15A (B種ヒューズ)	15A	24.0m	9.7A

- ※1 電源には必ずインバーター回路用漏電遮断器(三菱電機NV-Cシリーズまたは、その同等品)を取付けてください。
- ※2 加熱器等を組込んで本体と同一電源にする場合は、内線規程に従って再選定してください。
- ※3 漏電遮断器は感度30mA 0.1s以下を使用してください。
- ※4 電源配線のこう長は電源から室内ユニットまでの電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。

②室外ユニット 電線太さ及び開閉器容量

セット形名	室外構成 ユニット形名	電線太さ		漏電遮断器 ※6	手元開閉器		配線用遮断器	最大こう長 ※8	室外ユニット 最大電流
		電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器			
PFHV-P450DMJ3	PUHV-P450DMJ3	22mm ²	5.5mm ²	75A ※5	75A	75A (B種ヒューズ)	75A	47.0m	59.5A

- ※5 漏電遮断器は感度100mA 0.1s以下を使用してください。
- ※6 電源には必ずインバーター回路用漏電遮断器(三菱電機NV-Cシリーズまたは、その同等品)を取付けてください。
- ※7 電源配線の太さは、ご使用になる配線種・周囲温度により異なる場合がありますので、内線規程に従って選定してください。
- ※8 電源配線のこう長は電源から室外ユニットまでの電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。

③制御配線

配線	電線太さ	配線の種類	総延長
室内外伝送線	1.25mm ² 以上	シールド線 CVVS, MVVS	最大 200m
集中管理用	1.25mm ² 以上	シールド線 CVVS, MVVS	最大 200m
MAリモコン配線	0.3mm ² ※9	VCTF, VCTFK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCT	注6
温度センサー配線	1.25mm ² 以上	シールド線 CVVS, MVVS	最大 200m

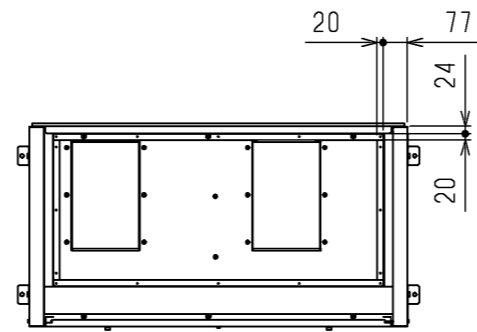
- ※9 シース付き0.3mm²ケーブルを使用してください。

④環境用計測コントローラー 電線太さ及び電源仕様

形名	電線太さ		電源仕様
	電源配線	アース	
PAC-YG63MC1	0.75mm ² 以上	0.75mm ² 以上	DC24V±10% 5W以上 リップルノイズ：200mVp-p以下 電安法準拠品を使用してください。

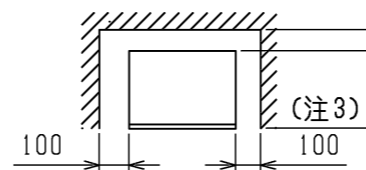
本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE 三菱電機 パッケージエアコン PFHV-P450DMJ3 機外配線図		
	2024-01-09	2024-03-22			
DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R度 SCALE DO NOT SCALE	三菱電機株式会社		DWG.NO. W KP94C1QH	REV. B	PAGE 1/1



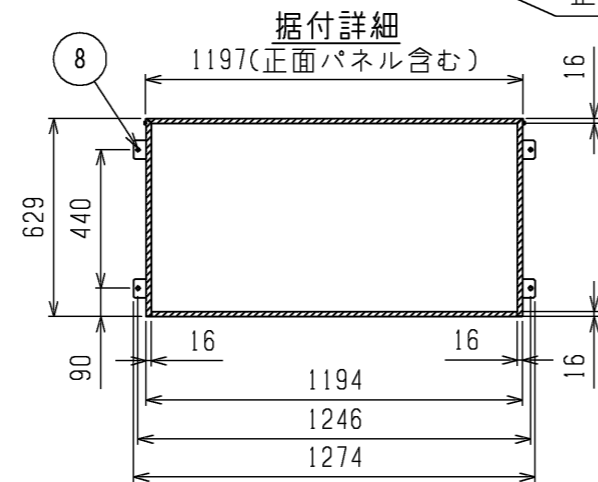
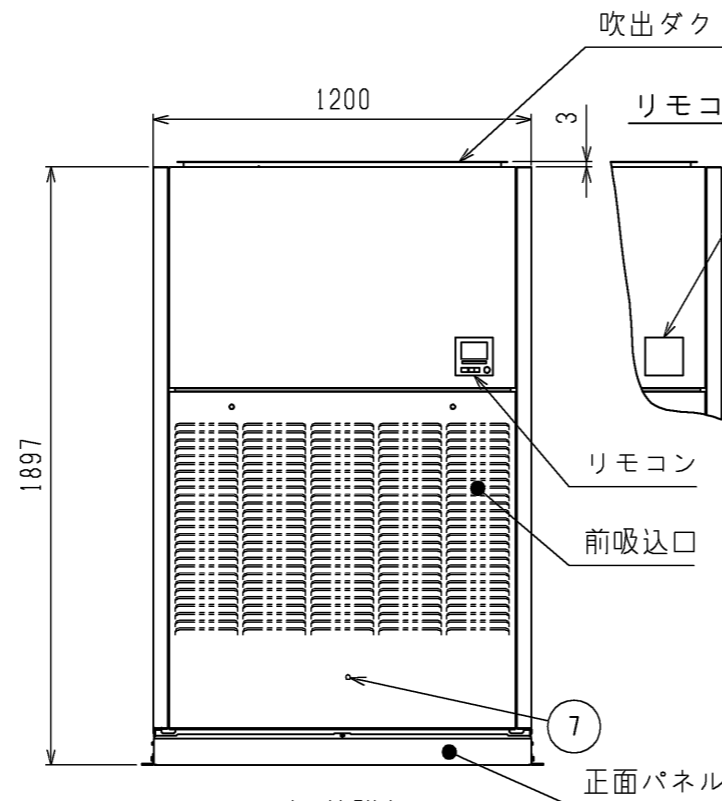
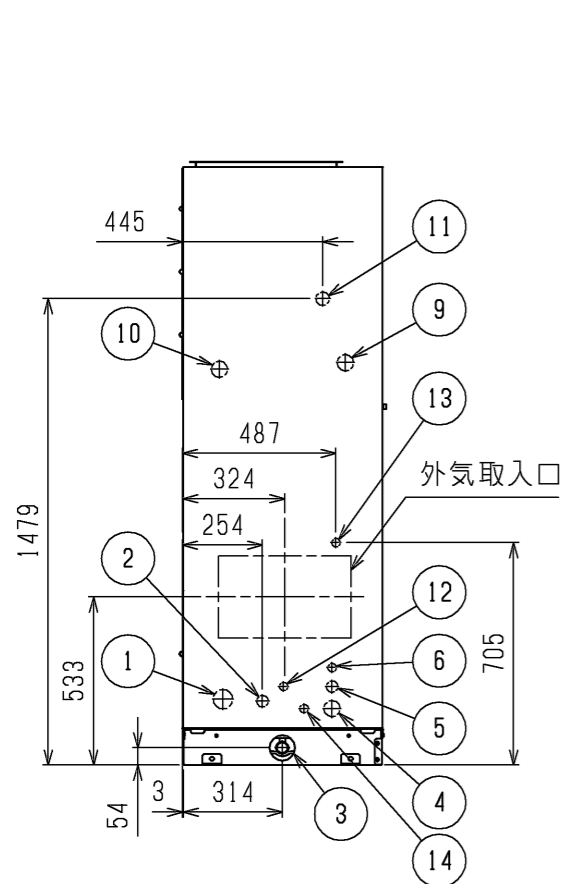
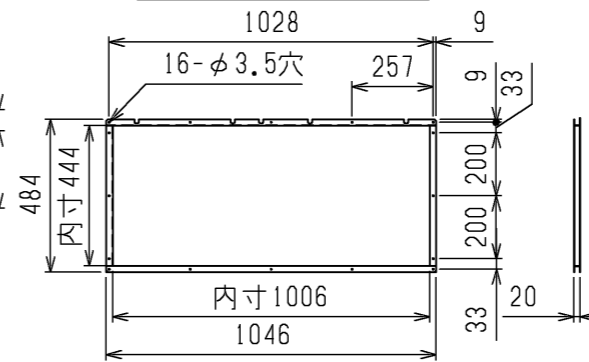
通風・サービススペース

通常最低限必要な寸法を示します。

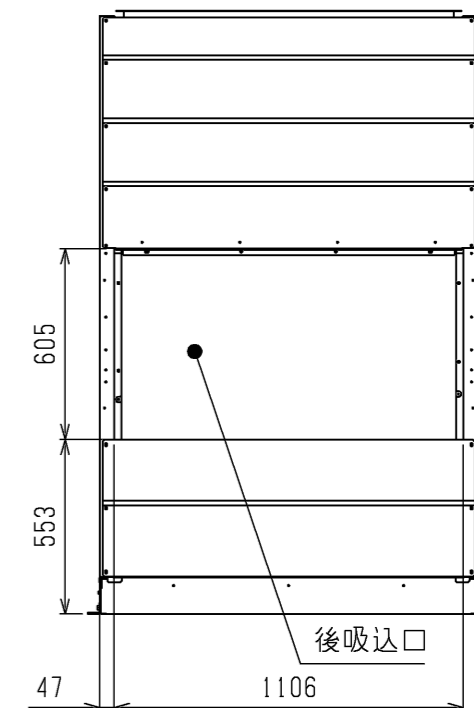
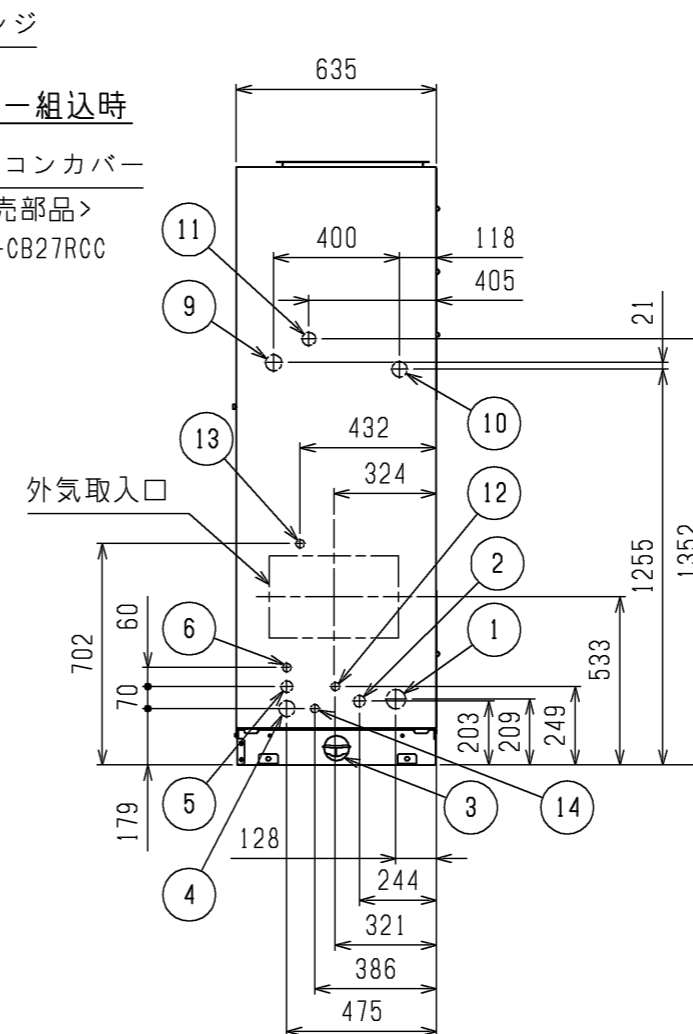


配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。

吹出ダクトフランジ



据付け時に受ける必要がある部分を で示しています。



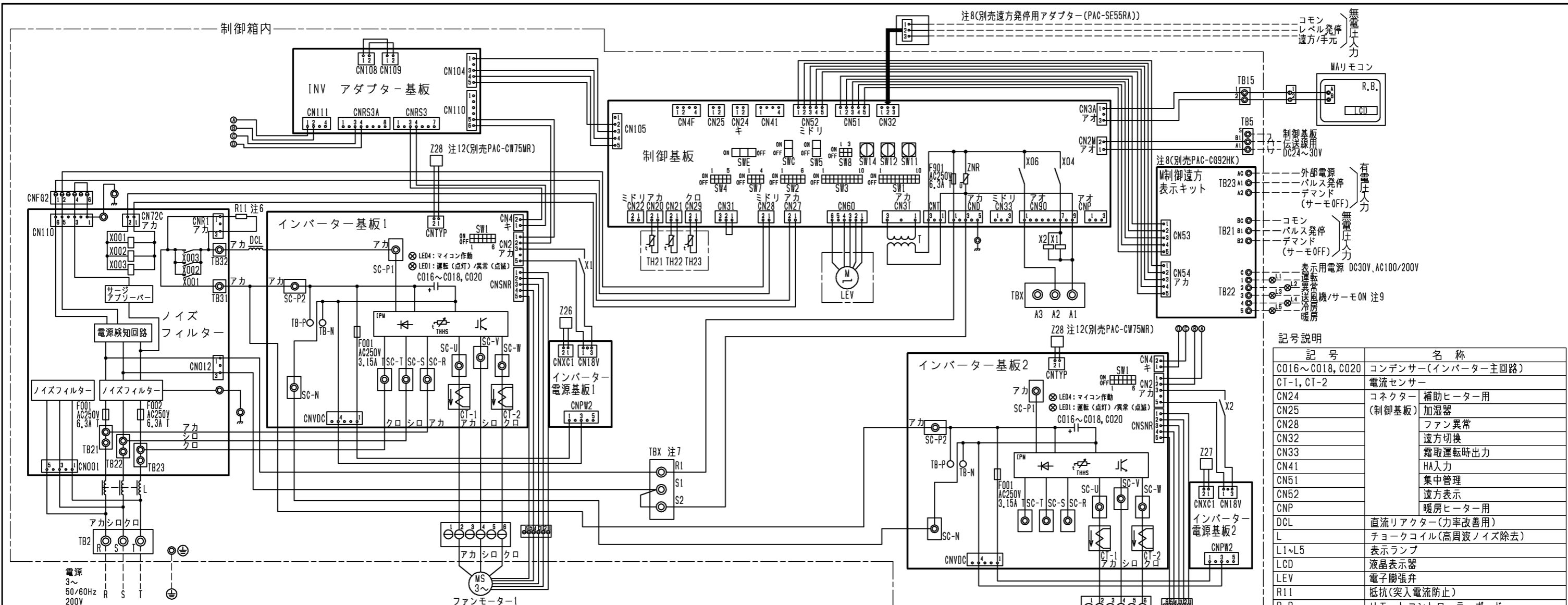
1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
3. 熱交換器の交換など重サービス時にはユニットの移動が必要となります。ユニットの移動ができない場合は両側面に500mmのスペースを確保して施工してください。
4. 標準仕様のドレン穴は左取出しとなっています。ドレンパンの向きを変更して右取出しにすることができます。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。

THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>・・・φ28,58ろう付	8	基礎ボルト穴・・・4-φ12
2	冷媒配管<液>・・・φ12,7ろう付	9	蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気入口・温水出口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ:Rc1 1/2)
3	ドレン穴・・・Rp1	10	蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気出口・温水入口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ:Rc1 1/2)
4	装置電源穴・・・φ52ノックアウト穴	11	遠方操作キット配線穴・・・φ43ノックアウト穴
5	電線穴・・・φ37ノックアウト穴	12	加湿器配管穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーパン:R1/2, 蒸気スプレー:Rc1/2)
6	室内外連絡線穴, 伝送線穴・・・φ27ノックアウト穴	13	加湿器配管穴・・・φ27ノックアウト穴(水スプレー:R1/2)
7	アース端子(制御箱内に設置)・・・M5ねじ	14	加湿器配線穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーパン, 水スプレー, 蒸気スプレー)

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R 度 SCALE DO NOT SCALE	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE 床置ダクト形室内ユニット外形図 PFAV-P450DMJ3	DWG.NO. W KP94C1RF	REV. A	PAGE 1/1
	2024-01-09	2024-02-19				



- 注1. 図中破線部分は現地工事区分を示します。
 注2. 一点鎖線は制御箱境界を示します。
 注3. ⊙印は端子台、⊖印は中継コネクタ、□は基板差込みコネクタを示します。
 注4. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 注5. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
 注6. ファストン端子はロック機構付き端子です。取り外す際は端子中央のつまみを押しながら取り外してください。取付後は確実にロックがかかっていることを確認してください。
 注7. 緊急停止入力は、端子台TBX(S1-S2間)の短絡線を外して、そこに緊急停止スイッチなどを配線接続してください。

- 注8. 遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)とM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)は別売部品です。
 ・パルス発停用スイッチ：M制御遠方表示キットに接続してください。
 ・レベル発停用スイッチ：遠方発停用アダプターに接続してください。
 注9. 制御基板のSW1-5を使用用途に応じて設定してください。
 送風機状態出力：SW1-5 OFF(工場出荷時設定)
 サーモON状態出力：SW1-5 ON

- 注10. ルームサーモ仕様にてご使用の場合は、製品内蔵のTH21は機能しません。別売温度センサー(PAC-SE40TS-W)を接続、または現地回路接続してください。
 注11. 各入力の接点は微小電流用(DC12V 1mA以下)を使用してください。
 注12. 高静圧モーターを使用する場合は、インバーター基板のCNTYPにモーター識別抵抗を接続してください(インバーター基板1、2とも)。また、室内基板のSW3-2をOFF→ONにしてください。モーター識別抵抗は、別売部品に付属しています。

●仕様(M制御遠方表示キット)

項目	内容
電源	室内基板から受電
据付場所	本体制御箱内
適合入出力伝送線サイズ(信号線)	CV, CVSまたはこれらに相当するもの 単線：φ0.65mm×φ1.2mm 燃線：0.5mm ² ~1.25mm ²
信号線配線距離	外部出力：MAX100m 外部入力：MAX100m
室内ユニット接続線	10心(5心+5心)5m
接続形態	室内基板毎

●入力仕様(M制御遠方表示キット、遠方発停用アダプター)

機能	使用用途	信号仕様
パルス発停 (注8) (注11)	ON/OFF指令を出すことができます。	ハルス(有電圧/無電圧a接点) (有電圧の場合) 電源：DC12V~24V 電流：約10mA(DC12V時)
		200ms以上 200ms以上 (ハルス通電時間) (ハルス間隔)
レベル発停 (注8) (注11)	ON/OFF指令を出すことができます。レベル(無電圧a接点)	遠方/手元 ON OFF
		リモコン 運転/停止はできません 運転操作ができます
デマンド (注11)	デマンド指令(サーモOFF)を出すことができます。	レベル(有電圧/無電圧a接点) (有電圧の場合) 電源：DC12V~24V 電流：約10mA(DC12V時)

●出力仕様(M制御遠方表示キット)

機能	使用用途	信号仕様
運転	外部へ運転信号が取り出せます。	リレーa接点出力 DC30Vまたは AC100V/200V 接点定格電流：1A 接点最小負荷：10mA
異常	外部へ異常信号が取り出せます。	
送風機・サーモON (注9)	外部へ送風機運転・サーモON信号が取り出せます。	
冷房	外部へ冷房信号が取り出せます。	
暖房	外部へ暖房信号が取り出せます。	

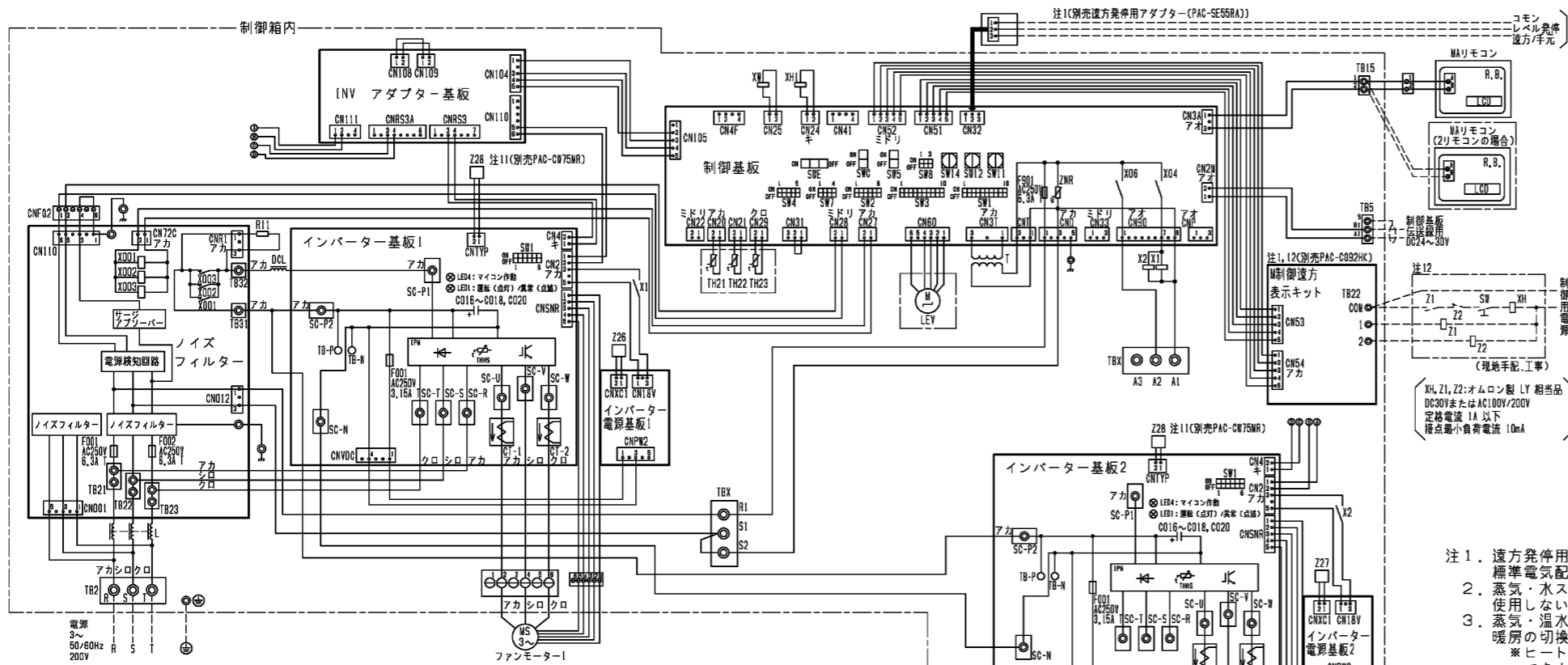
記号説明

記号	名称
C016~C018, C020	コンデンサー(インバーター主回路)
CT-1, CT-2	電流センサー
CN24	コネクタ 補助ヒーター用
CN25 (制御基板)	加温器
CN28	ファン異常
CN32	遠方切換
CN33	霜取運転時出力
CN41	HA入力
CN51	集中管理
CN52	遠方表示
CNP	暖房ヒーター用
DCL	直流リアクター(力率改善用)
L	チョークコイル(高周波ノイズ除去)
L1~L5	表示ランプ
LCD	液晶表示器
LEV	電子膨張弁
R11	抵抗(突入電流防止)
R.B.	リモートコントローラーボード
SW1	スイッチ 機能切換
SW2 (制御基板)	能力設定
SW3	機能切換
SW4	機種設定
SW5	機能切換
SW7	機能切換
SW8	能力設定
SW11	アドレス設定用 1の位
SW12	アドレス設定用 10の位
SW14	分岐口No.、ペアNo.用
SWC	機能切換
SWE	ファン試運転用
T	電源トランス
TB2	電源端子台
TB5	伝送端子台
TB15	MAリモコン用端子台
TB21~TB23	入出力用端子台(別売M制御遠方表示キット)
TBX(S1, S2)	緊急停止用端子台
TBX(A1, A2, A3)	別売接続用端子台
TH21	吸込み温度検出用サーミスター
TH22	配管温度検出用サーミスター(液)
TH23	配管温度検出用サーミスター(ガス)
X1, X2	電磁継電器 インバーター基板用
X001~X003	インバーター主回路
Z26, Z27	機能設定素子
Z28	モーター識別抵抗

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。

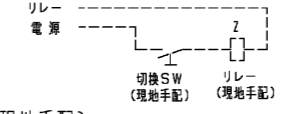
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE
2024-01-09		床置きダクト形室内ユニット電気配線図 PFAV-P450DMJ3
DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS	2024-01-09	
R 度 SCALE	三菱電機株式会社	
DO NOT SCALE	DWG.NO. W KP94C1R7	REV. *
		PAGE 1/1



記号	名称	備考	記号	名称
蒸気・温水ヒーター	21W	電磁弁	C016~C018, C020	コンデンサー(インバーター主回路)
補助電気ヒーター	SW	スイッチ	C1-1, C1-2	電流センサー
	88H1	電磁接点器	CN24	コネクタ(補助ヒーター用)
	FS	温度ヒューズ	CN25	加湿器(制御基板)
	H	ヒーター	CN28	ファン異常
	26H	過昇防止サーモ	CN32	遠方切換
	XH1	補助ヒーター	CN33	霜取運転時出力
滴下浸透気化式加湿器	HS	ヒューミディスタット	CN41	HA入力
	SV	電磁弁	CN51	集中管理
	XW	補助ヒーター	CN52	遠方表示
	F2	ヒューズ(0.5A)	CNP	暖房ヒーター用
	SW	スイッチ	DGL	直流リアクター(力率改善用)
ペーパーパン加湿器	52H	電磁接点器	L	チョークコイル(高周波ノイズ除去)
	26H2	サーマルカットアウト	LCD	液晶表示器
	FS	温度ヒューズ	LEV	電子膨張弁
	H	ヒーター	R11	抵抗(突入電流防止)
	23HS	湿度調節器	R, B,	リモートコントローラボード
	T	タイマー	SW1	スイッチ
	SV	電磁弁	SW2	(制御基板) 能力設定
	L	断水ランプ	SW3	機能切換
	33W	断水スイッチ	SW4	機能設定
	XW	補助ヒーター	SW5	機能切換
MAリモコン		製品本体記号説明 参照	SW7	機能切換
高静圧用モーター	Z28	モーター識別抵抗	SW8	能力設定
電気ヒーター(再熱用)	88H1, 88H2	電磁接点器	SW11	アドレス設定用 1の位
	H1, H2	ヒーター	SW12	アドレス設定用 10の位
	FS	温度ヒューズ	SW14	分岐口No.ベアNo.用
	26H	過昇防止サーモ	SWC	機能切換
	XH1, Z1, Z2	補助ヒーター	SWE	ファン試運転用
	SW	ヒーター用スイッチ	T	電源トランス
蒸気スプレー加湿器	23HS	湿度調節器	TB2	電源端子台
	SV	電磁弁	TB5	伝送端子台
	XW	補助ヒーター	TBx(S1, S2)	緊急停止用端子台
水スプレー加湿器	23HS	湿度調節器	TBx(A1, A2, A3)	別売接続用端子台
	SV	電磁弁	TB15	MAリモコン用端子台
	XW	補助ヒーター	TB21~TB23	入出力用端子台(別売制御遠方表示キット)
			TH21	暖込み温度検出用サーミスタ
			TH22	配管温度検出用サーミスタ(液)
			TH23	配管温度検出用サーミスタ(ガス)
			X1, X2	電磁継電器 インバーター基板用
			X001~X003	インバーター主回路
			Z26, Z27	機能設定素子

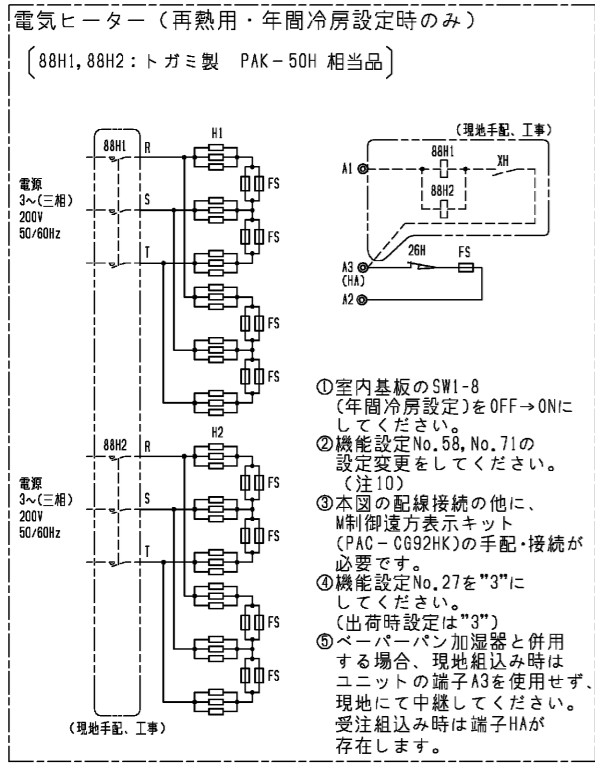
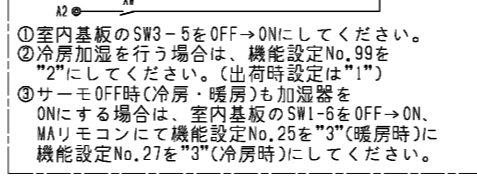
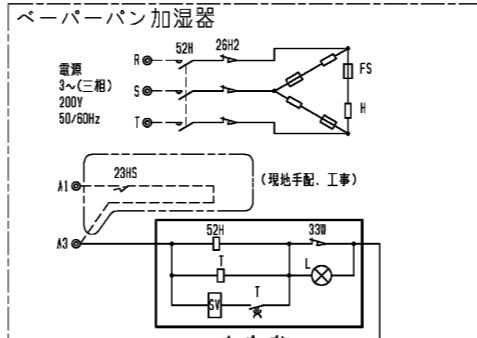
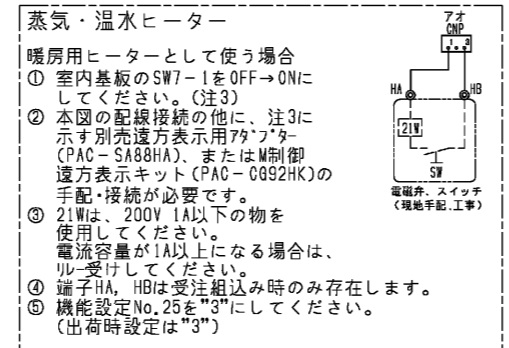
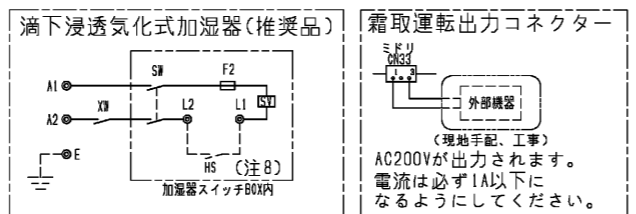
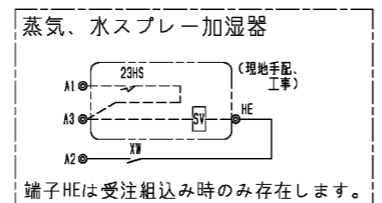
- 注1. 遠方発停用アダプター、M制御遠方表示キットの接続要領は、標準電気配線図をご参照ください。
- 注2. 蒸気・水スプレー加湿器、ペーパーパン加湿器は23HS(湿度調節器)を使用しない場合、端子台のA1とA3を短絡してください。
- 注3. 蒸気・温水ヒーターは、ヒートポンプ暖房または蒸気・温水による暖房の切替運転になります。
* ヒートポンプ暖房と蒸気・温水暖房を同時に運転することはできません。
下記要領に従って、SW設定、配線接続してください。
- 1) SW 7-1 を ON に設定してください。
 - 2) 下図のように切替 SW、リレーを設けてください。(現地手配)



(室内機と別電源仕様)電気設備容量

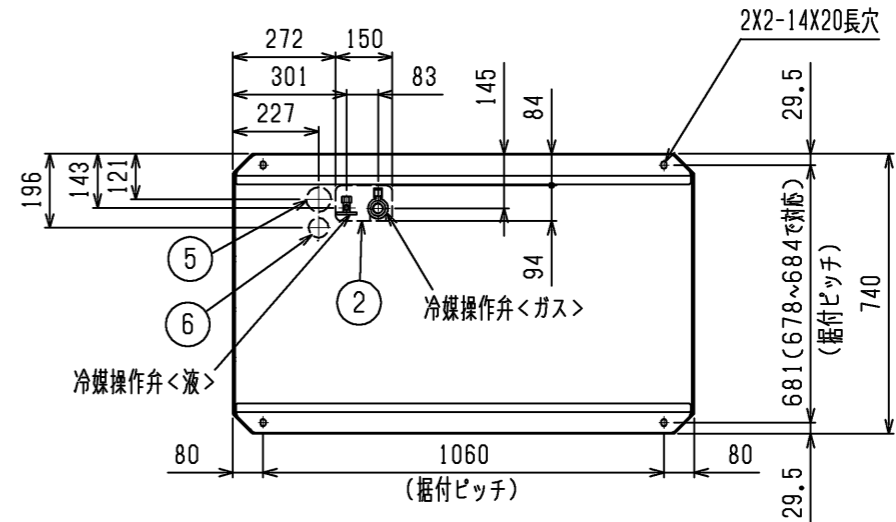
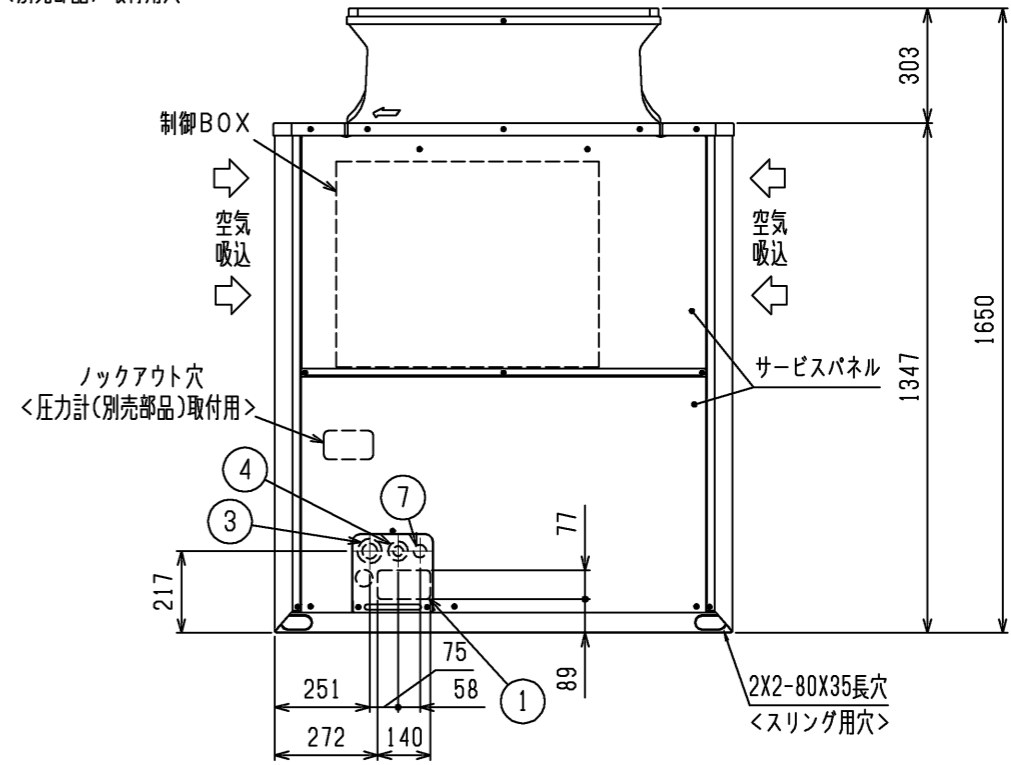
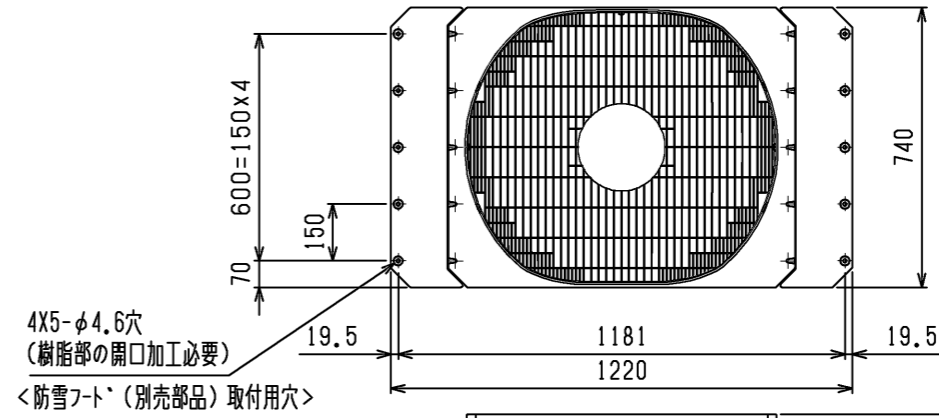
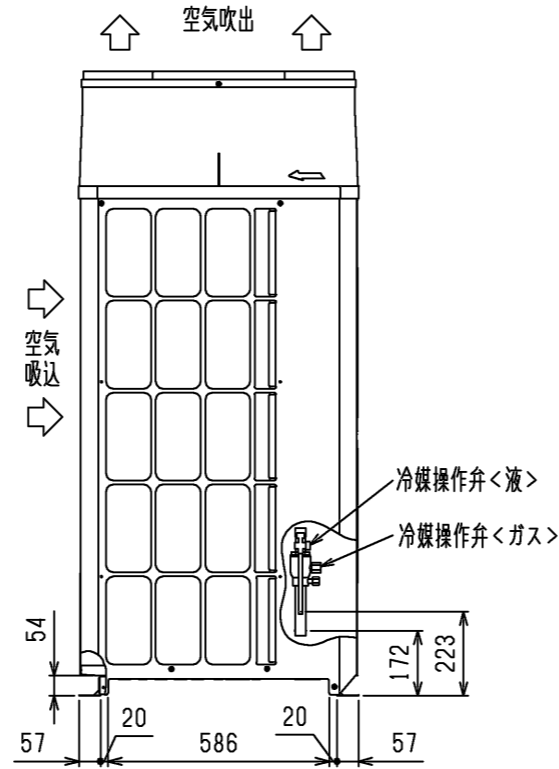
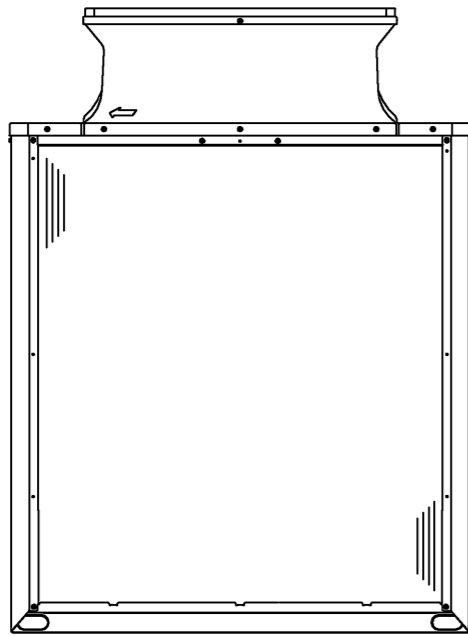
	電線太さ	漏電遮断器	手元開閉器		配線用遮断器	最大こう長
			開閉器容量	過電流保護器 (B種ヒューズ)		※3
電気ヒーター(再熱用)	22mm ²	75A ※1	75A	75A	75A	39m
ペーパーパン加湿器	2.0mm ²	20A ※2	15A	15A	20A	18m

- ※1 漏電遮断器は感度100mA 0.1s以下を使用してください。
- ※2 漏電遮断器は感度30mA 0.1s以下を使用してください。
- ※3 電源配線のこう長は電源から別売部品までの電圧降下2%時の最大こう長を示します。



- 切替 SW(現地手配)
- ONで蒸気・温水暖房(圧縮機は運転しません)
OFFでヒートポンプ暖房(電磁弁(現地手配)は動作しません)
* 接続が微小電流用(DC12V 1mA相当)の場合、下記リレー(現地手配)は不要です。
直接基板へ接続してください。
- リレー(現地手配)
- 微小電流対応(DC12V 1mA相当)のものを使用してください。
- ① 別売遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を使用する場合
下図①のように遠方表示用アダプターに配線接続してください。
 - ② 別売M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)を使用する場合
下図②のように遠方表示キット内のBC-B2間に配線接続してください。
-
-
- * ヒートポンプ暖房/蒸気・温水暖房の切替入力と、室内ユニットから出力信号(運転、異常、冷房、暖房、送風)を併用する場合は、図②に示すように、別売M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)をご使用ください。
この場合、遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を用いた図①の接続は不要です。
- 3) 冷房運転時は上記切替 SW(現地手配)を必ずOFFにしてください。
ONの状態では圧縮機が運転しません。
4. 本図は主要部品組込時の配線図を示します。
標準の電気配線接続は、標準の電気配線図を参照してください。
5. 本ユニットは受注要求仕様により、本図に示す電気回路(該当部分のみ)を組込んでいます。
 6. 室内温度制御にて空調を行う際は温度センサー(PAC-SE40TS-W)を使用し、TH21は取外してください。
 7. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
 8. ヒューミディスタットをご使用の際は、端子台L1, L2の短絡線を外してヒューミディスタットを接続してください。
 9. 滴下浸透気化式加湿器組込時は、蒸気・温水ヒーター、電気ヒーター(再熱用)、補助電気ヒーターとの併設はできません。
 10. 電気ヒーター(再熱用)または、蒸気・温水ヒーター(再熱用)を組込みの場合、ヒーターの余熱排除のため、MAリモコンにて機能設定No.58を"3"、機能設定No.71を"2"にしてください。
 11. 高静圧用モーターを使用する場合は、インバーター基板のCNTYPにモーター識別抵抗を接続してください。
また、室内基板のSW3-2をOFF→ONにしてください。
モーター識別抵抗は、別売部品に付属しています。
 12. 電気ヒーター(再熱用)を組込みの場合、M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)を必ず使用してください。
現地手配・工事部については、現地責任でお願いします。

- 注1. ユニット周囲の必要空間と基礎施工時の注意事項は、(2/2)を参照してください。
2. ろう付け時は、操作弁本体へ濡れタオル等を巻き、本体温度が120℃以上にならない様にしてください。
3. 背面用網は、別売部品でご用意しています。
4. 別売部品取り付けの際には、取り付け後の外形寸法に応じたユニット間隔としてください。



接続管仕様

形名	冷媒配管径		操作弁口径	
	液側	ガス側	液側	ガス側
P450DMJ3形	φ12.7ろう付※1	φ28.58ろう付※2	φ12.7	φ28.58

- ※1・・・現地配管を拡張して直接操作弁にろう付けしてください。
- ※2・・・施工状況に応じて管継手(現地手配)又は弊社サービス部品を使用し、現地配管を操作弁へろう付けしてください。

NO.	用途	仕様
①	配管用	前面通し穴 140×77ノックアウト穴
		底面通し穴 150×94ノックアウト穴
②	電源配線用	前面通し穴 Φ65もしくはΦ40ノックアウト穴
		前面通し穴 Φ52もしくはΦ27ノックアウト穴
		底面通し穴 Φ65ノックアウト穴
		底面通し穴 Φ52ノックアウト穴
③	伝送用配線	前面通し穴 Φ34ノックアウト穴

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

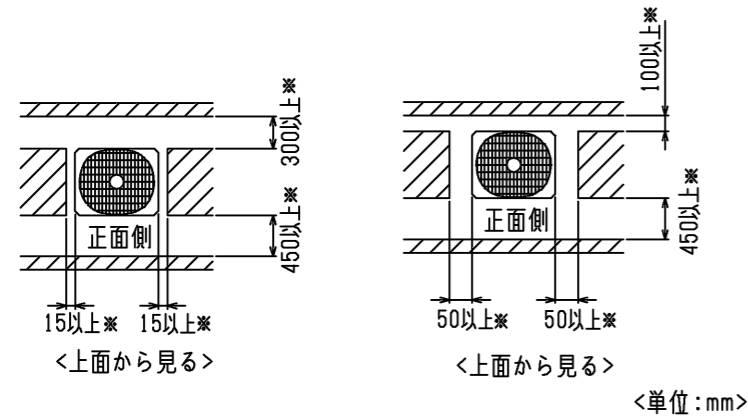
作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE
2024-01-09		PUHV-P450DMJ3(-BS,-BSG) 設備用インバータエアコン 室外ユニット外形図
尺度 SCALE DO NOT SCALE	三菱電機株式会社	
DWG.NO. W KB94C88E	REV. *	PAGE 1/2

1. ユニット周囲の必要空間

● 単独設置の場合

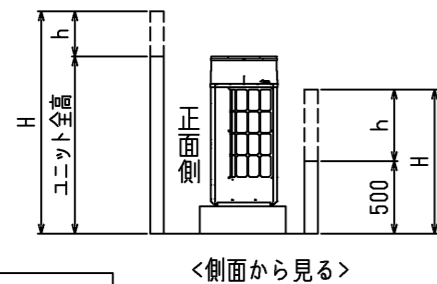
① ユニットは、下図に示す必要空間をとって設置してください。

○後面側、壁面まで300mm以上の場合 ○後面側、壁面まで100mm以上の場合



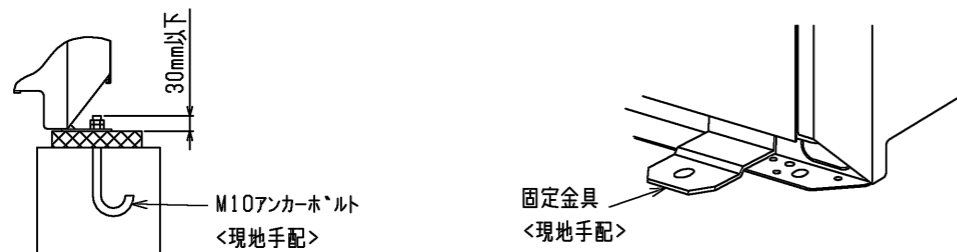
② 前後、側面の壁高さ<H>が、下記<壁高さ制約>を超える場合
<壁高さ制約>を超えた分の1/2の寸法<h/2>を図中にある*印の寸法に加算してください。

<壁高さ制約> 正面: ユニットの全高以下
後面: ユニット底面から500mm以下
側面: ユニットの全高以下



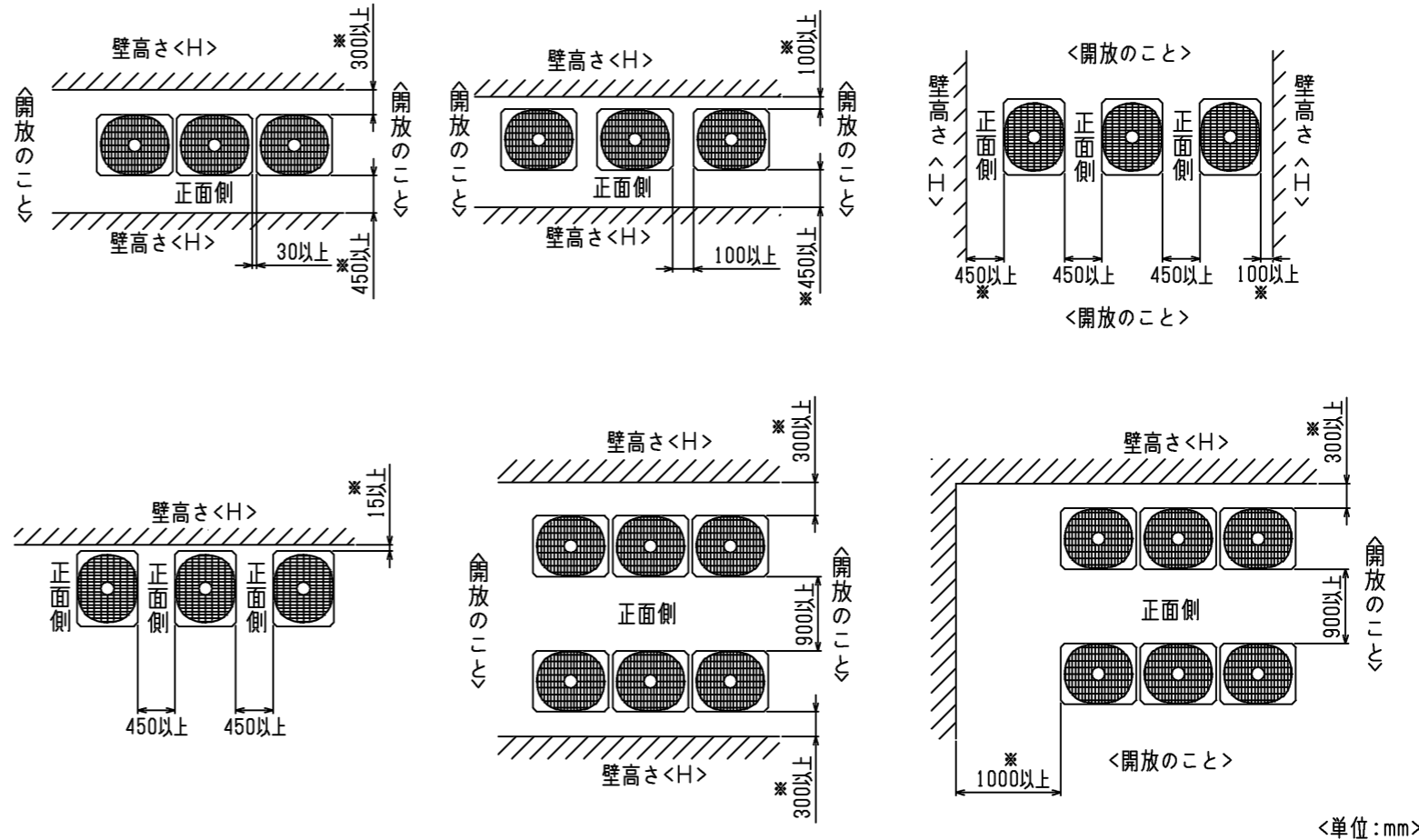
2. 基礎施工

- 基礎施工に際しては床面強度、ドレン水処理、配管、配線の経路に十分留意してください。
<運転時にはドレン水がユニット外に流出しますので、集中排水する場合は、別売の集中ドレンパンを使用してください。>
- ユニット取付部の下図コーナーを確実に受けるように基礎を施工してください。
防振ゴムを使用する場合には、幅方向を防振ゴム全面で受けるように施工してください。
- アンカーボルトの飛び出しは30mm以下とるようにしてください。
- 後打ち式アンカーボルトを使用する場合は、下図のような固定金具（現地手配）を取り付けてください。（4箇所）
- 小動物・雪・雨水などが配管・配線取だし部から侵入すると、機器を損傷するおそれがありますので、開口部は閉鎖材等（現地手配）で必ず塞いでください。
- 底面配管または底面配線を行う場合は、ベースの貫通穴を塞がないように基礎や架台の施工には注意してください。
- 架台等に取り付ける場合、設計工事マニュアルを参照ください。



● 集中設置・連続設置の場合

- 多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して、各ブロック間に下図スペースをとってください。
- 2方向は開放とってください。
- 壁高さ<H>が<壁高さ制限>を超える場合は、単独設置の場合と同様に<壁高さ制限>を超えた分の1/2の寸法<h/2>を*印の寸法に加算してください。
- ユニット前後に壁がある場合の側面方向への連続設置は最大6台として、6台毎に吸込スペース兼通路スペースとして1000mm以上とってください。



本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS 尺度 SCALE DO NOT SCALE	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE PUHV-P450DMJ3(-BS,-BSG) 設備用インバータエアコン 室外ユニット外形図	
	2024-01-09		DWG.NO. W KB94C88E	REV. *
三菱電機株式会社			PAGE 2/2	

- 注1.破線は現地配線を示します。
 注2.一点鎖線は制御箱境界を示します。
 注3.入出力信号用コネクタの接続はシステム設計工事マニュアルを参照してください。
 注4.同一冷媒システムの室外ユニット間はTB3を渡り配線してください。
 注5.ファストン端子はロック機構付き端子です。取り外す際は端子中央のつまみを押しながら取り外してください。取り付けた後は確実にロックがかかっていることを確認してください。
 注6.機種による相違点

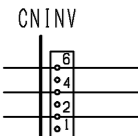
型名 (-BS, BSG含む)	TH5
P*** DMJ	無
P***SDMJ	有

- 注7.SW4: 全てOFFの場合
 ・LED3 点灯: 運転
 点滅: 立ち上げ中
 消灯: 停止
 その他の設定、モニタ項目は、据付説明書を参照してください。

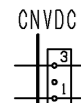
- 注8.集中管理スイッチの設定 (SW5-1)

システム構成	SW5-1
システムコントローラーとの接続システムなし	OFF
システムコントローラーとの接続システムあり	ON

- 注9.基板のファストン端子がコネクタ仕様の場合があります。

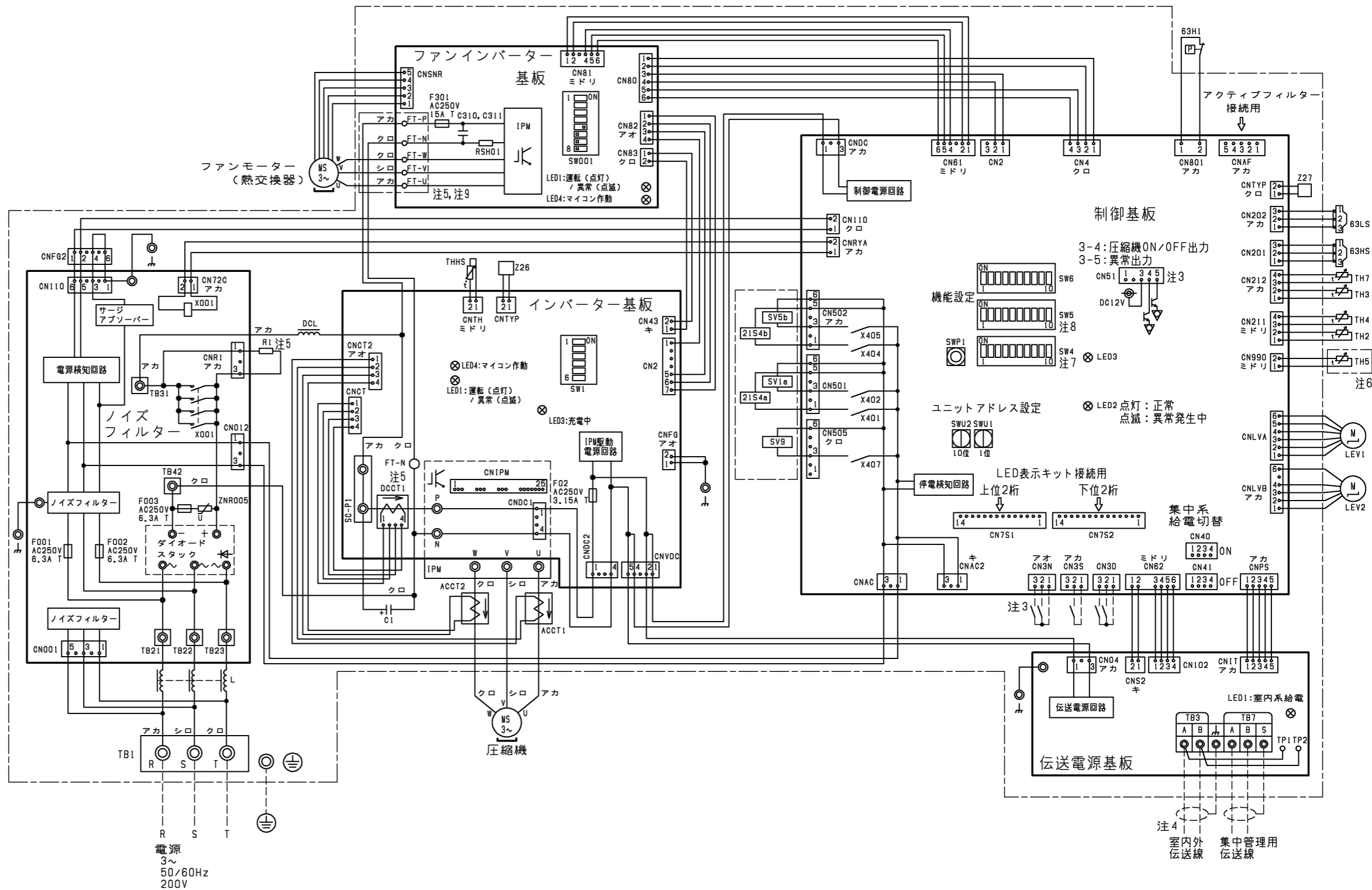


FT-U, FT-V, FT-W ⇒ CNINV



FT-P, FT-N ⇒ CNVDC

記号	名称	
21S4a	四方弁	冷暖切換
21S4b		熱交換器容量切換
63H1	圧カスイッチ (高圧過昇保護)	
63HS1	圧カセンサー	吐出圧力
63LS		低圧圧力
X001	電磁継電器 (インバーター主回路)	72C
ACCT1, 2	電流センサー (交流)	
C1	コンデンサー (インバーター主回路)	
DCCT1	電流センサー (直流)	
DCL	直流リアクター (力率改善用)	
L	チョークコイル (高周波ノイズ除去)	
LEV1	電子膨張弁	H10バイパス流量調整
LEV2		圧力制御、流量調整
R1	抵抗	突入電流防止
RSH01		電流検出用
SV1a	電磁弁	0/S下バイパス回路
SV5b		熱交換器容量切換
SV9		高圧バイパス
TB1	端子台	電源
TB3		室内外伝送
TB7		集中管理用伝送
TH2	サーミスタ	SCバイパス出口温度
TH3		液管温度
TH4		吐出温度
TH5 (注6)		Acc流入管温度
TH7		外気温度
THHS		IPM温度
Z26	機能設定素子	
Z27	機能設定素子	



本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
 THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R度 SCALE DO NOT SCALE	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE PUHV-P450DMJ3(-BS,-BSG) PUHV-P500SDMJ3(-BS,-BSG) 設備インバーターエアコン 室外ユニット 電気配線図
	2024-01-09		
三菱電機株式会社			DWG.NO. W KE94L435
			REV. PAGE 1/1